

2010年度 中学入試

学校情報FLASH!!

CHAPTER. 5

(2009. 7. 29)

成基コミュニティ 学校情報室

《次年度2010年度入試》 ☆変更のある学校 特集☆

次年度2010年度入試は、各学校の入試の変化が多い年度になります。

4年前の2006年度入試は、京都・大阪・兵庫・滋賀・奈良の各私立中学の入試開始日が同一日となり（近畿圏統一入試）、さらに**洛南高附中学**が共学化を発表するなど、変化の多い年度でした。

次年度2010年度入試も、それに匹敵するほど変化が多い年度だといわれています。今回は多くの変化の中でも、特に影響の大きなものにテーマを絞ってお伝えします。

☆テーマ☆

- ①新設の学校
- ②4科・3科選択制導入校が激増
- ③大学附属校
- ④主要校の募集定員変動

① 新設の学校

最も影響が大きい新設校は、関西大学系列の2校『**関西大学中等部**』と『**関西大学北陽中学**』です。さらに、**京都橘高校**が『**京都橘中学**』を新設します。

【 関西大学中等部 】

JR高槻駅の北側に、『**関西大学中等部**』が開校します。この関大の高槻キャンパス（ミューズキャンパス）には、中等部以外に初等部・高等部・大学の新学部が同時に開校する予定です。将来的な構想としては、小中高一貫の12年教育を念頭に置いた教育を実施する予定です。

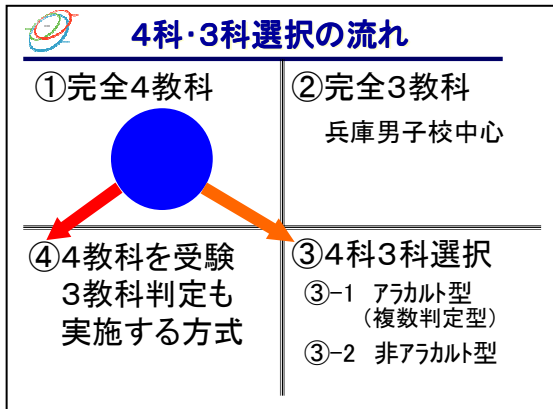
【 関西大学北陽中学 】

2008年に開校した**関西大学北陽高校**が、来年度、中学校を開校します。現在、阪急・上新庄駅の校地に、新校舎が急ピッチで建設中です。既に募集要項が発表されており、男女あわせて3クラス120名の募集です。入試日程は1月16日・18日で、2回実施されます。理系教育に重点を置き、関西大学進学はもちろん国公立大学もチャレンジできる学力の養成を目指しています。

【 京都橘中学 】

京都の南部にある**京都橘高校**は、来年度、中学校を開校する予定です。高校入試では、京都はもちろん大阪や奈良など広域から1600名以上の受験者を集めている学校ですので、中学入試でもある程度の受験者を集め、他の中学校の受験者数や難易度に影響を与える可能性があります。

② 4科3科選択制を導入する学校が激増



※受験科目数を選べるのは、
③の「4科3科選択方式」です。

2010年度入試と過去の入試との大きな違いは、4科3科選択制の学校が増えることです。4科3科選択制とは、出願する際に受験科目を国算理社の4教科か国算理の3教科かを選択する制度です。

元々、兵庫県の難関男子校では、3科目(国語・算数・理科)での入試が実施されていました。2006年度入試で洛南高校附属中学など4教科入試をしていた難関校が4科3科選択制入試を導入して以降、4科3科選択制は、大阪や奈良の男子校を中心に徐々に広がりを見せていました。そして、2010年度入試では、その流れが一気に速まります。今年の春に、大阪星光学院中学や洛星中学等の人気難関男子校が2010年度入試での4科3科選択制導入を発表しました。それに続いて、明星中学・高槻中学・東山中学等の男子校が4科3科選択制の導入を決定しました。さらに、愛光中学(愛媛県)や、同志社中学なども導入を決め、4科3科選択制入試を実施する学校は、2010年度入試で大きく増えます。

【 4科・3科選択制入試の学校一覧(抜粋) (7月18日現在) 】

下の表は、次年度2010年度入試において、4科3科選択制入試の導入が決定している学校の一覧(抜粋)です。受験科目を4科か3科か選べる入試の場合、判定方法は、大きく分けて「非アラカルト型」と「アラカルト型」の2種類があります。さらに、「全員が4教科を受験しなくてはならないが、3教科での判定も実施する方式」を採用している学校もありますので、掲載します。以下をご覧ください。

【4科3科選択制・・・アラカルト型】

東大寺学園・西大和学園(3科4科日程)・同志社・立命館(前期B・後期)・明星(1次・2次)
高槻(前期)・大阪星光学院・東山(前期・後期)・清風南海(A日程・B日程)・大阪桐蔭(全日程)
関西大倉(A日程)・須磨学園(全日程)・函館ラ・サール・愛光 etc

【4科3科選択制・・・非アラカルト型】

洛南高附・洛星(前期・後期)・関西大学北陽(1次)・早稲田摂陵 etc

【4科受験だが、3科判定も実施する方式】

開明(全日程)・京都産業大学附属(A日程・B日程)・近畿大学附属(後期) etc

続いては、それぞれの判定方法について説明をします。ただし、判定方法の詳細は学校によって異なりますので、受験の際は、各学校の入試要項などでご確認ください。

【 4科3科選択 アラカルト型とは・・・ 】

4科3科選択制の特徴の一つとして、多くの学校では、「受験科目数を4科と3科から選べて、4教科で受験した場合は、4教科合計点と3教科換算点の高い方の点数を入試得点としてもらえる」ということが挙げられます。これを「アラカルト型」と呼んでいます。以下に、判定方法の具体的な例を挙げてご説明します。

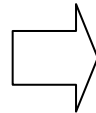
◎西大和学園(3科・4科選択日程)の判定方法◎

《4教科受験生》

3教科の合計の5/4倍と4教科の合計のうち高いほうを総合点とする。

《3科受験生》

3教科の合計の5/4倍を総合点とする。



500点満点で上位者(4科目受験生+3科目受験生)から成績順に定員までを合格とする。

◎大阪星光学院の判定方法◎

《4教科受験生》

(ア) 4教科合計

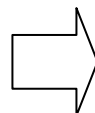
(イ) 国算理の3教科合計×1.25倍

(ウ) 国算社の3教科合計×1.25倍

上記(ア)～(ウ)の最高点を受験者の成績と判断。

《3教科受験生》

国算理の3教科合計×1.25倍



400点満点で上位者(4科目受験生+3科目受験生)から成績順に定員までを合格とする。

以上2校の例からわかる通り、アラカルト型では、4教科受験生は複数の判定方法から高得点を採用してもらえます。また、3教科受験生は3教科の合計点を4教科満点に換算した点数のみを成績として扱います。4教科受験生がここまで判定してもらえらるとなると、社会を含めた4教科を学習している受験生にとっては、このアラカルト型を実施している学校を3教科型で受験する意味はほとんど無いといえます。

ただし、これらの制度では換算の際に3教科合計点を4教科の合計点に合わせて点数を調整することから、特に国算で傾斜配点(※1)をしている学校では、より国算の比重が高まることになります。ですから、3教科受験を予定している受験生は、国語・算数の力をしっかりつけましょう。

※1 傾斜配点とは各科目の点数が均等ではない配点のことです。例えば、西大和学園(3科・4科選択日程)の場合、国語150点算数150点理科100点社会100点の配点です。この受験日程で3科受験した場合、総合点は国算理の5/4倍で出しますから、結果として、国語と算数の比重がさらに高くなります。

【 4科3科選択 非アラカルト型とは・・・ 】

非アラカルト型は、4科3科選択制でも、出願時に選択した各々の受験型でそのまま判定をする方式です。つまり、4教科受験の場合は4教科合計点で、3教科受験の場合は3教科判定点で(計算方法は学校によって異なります)、それぞれ判定されます。この方式は、理科と社会で難易度に差があっても、全く加味されませんから、注意が必要です。東大寺学園中学は、従来までこの非アラカルト型でしたが昨年度の2009年度入試では理科と社会の平均点に著しい差が生じました。そのことが影響しているのかわかりませんが、2010年度入試ではアラカルト型に変更することを決定しています。

【 4教科受験 3教科判定も実施する方式とは・・・ 】

これは、4科3科選択ではなく、全員が4教科を受験しますが、合否判定の際に3教科での判定点も出し、高得点の方を受験生の得点とする方式です。ただし、この方式を採用する学校には、成績処理の時点で4科・3科両方で判定を行う学校と、理科・社会の高得点の方を採用する学校とがあります。以下に**開明中学**の例を挙げます。

◎開明の判定方法◎

国算理社を受験する。

理科・社会の高得点を2倍し、国語・算数との合計300点満点で審査する。

開明中学では上記のような判定を行っています。つまり、受験者は、実質的に2回の判定チャンスが与えられていることとなります。

③大学附属校の大きな変化

ここ数年、私立の中高が、次々と有名大学と連携・提携しています。毎年のように大学連携の新コース設置や、大学の附属校化に伴う学校名改称のニュースが報道されています。2010年度入試はその流れがさらに加速します。

それでは、主要な大学の変化をお伝えいたします。各大学の附属校や連携コースの一覧も参考になさってください。

【 関西大学 】

大学附属校・大学連携コース

関西大学 (2009年7月時点の状況)

- ★大学附属校
 - ・関西大学第一中学校
 - ・関西大学北陽中学校 (2010年4月新設)
 - ・関西大学中等部 (2010年4月新設)
- ★連携校
 - ・浪速中学校 (2010年4月から連携)
- ★高大接続パイロット校

【高大接続パイロット校】は、高校が独自の選考基準で選抜した生徒が関西大学に推薦入学できる制度。学校によって人数枠は様々です。

奈良育英学園(奈良育英・育英西)、初芝学園(初芝堺・初芝富田林・初芝橋本)、上宮学園(上宮・上宮太子)、京都光華、大阪桐蔭、報徳学園、羽衣学園、賢明学院、(京都)大谷、京都橋、金蘭会、(京都)花園など

関関同立の中で、最も大きく変化するのは関西大学です。前述したように、**関西大学中等部・関西大学北陽中学**が新設されるのに加え、大阪南部の浪速中高が校名を「**関西大学連携浪速中学高等学校**」に名称変更します。従来から人気校のある**関西大学第一中学**は募集定員の変更がなく240名募集ですから、関西大学系列中高の募集定員が大幅に増えることとなります。その分、大阪北部を中心に関西大学系列校を受験する層が広がり、関大ブームが起こる可能性があります。

関西大学第一中学は2010年度入試から面接を追加して、入試日程を1月16日・17日の2日間入試(受験者は、両日とも出席しなくてはなりません)に変更します。

【 関西学院大学 】

2010年4月に吹田市にある**千里国際学園中等部**が関西学院大学と法人合併を行い、校名を「**関西学院千里国際中等部・高等部** (予定)」と改称します。インターナショナルスクールを併設するなど、英語教育に定評のあった**千里国際学園中等部**が、関西学院大学と合併することで人気にどう変化が起こるのかが注目されています。

また、兵庫・三田市の**三田学園中学**は、受験者が増加中の学校です。国公立大学への合格者を多数排出する進学校として以前から人気がありましたが、2007年から関西学院大学と提携して「**関学コース**」を開設し、さらに2009年4月からは共学校となり、受験生がさらに集まっています。今年度も引き続き人気が出る可能性があります。

さらに、大阪の**帝塚山学院中学**も**三田学園中学**と同じく2007年に関西学院大学と提携して、「**関西学院コース**」を設置しました。次年度は関西学院コース以外を再編する予定です。

なお、従来からの附属校である**関西学院中学部**は、2012年に初等部の1期生が中学部に進級します。それに伴い、共学化（女子募集を開始）する方向で検討している段階です。

大学附属校・大学連携コース

(2009年7月時点の状況)

関西学院大学

- ★**大学附属校**
 - ・関西学院中学部
- ★**連携校・継続校**
 - ・啓明学院中学校
 - ・関西学院千里国際中等部 (2010年4月校名改称予定)
- ★**大学連携コース**
 - ・帝塚山学院 (関西学院コース 50名)
 - ・三田学園 (関学コース 40名)
 - ・清教学園 (大学連携コース 80名)

大学連携コースは、原則として、全員が関西学院大学に推薦で進学できます。

【 同志社大学 】

大学附属校・大学連携コース

(2009年7月時点の状況)

同志社大学

- ★**大学附属校**
 - ・同志社中学校
 - ・同志社国際中学校
 - ・同志社女子中学校
 - ・同志社香里中学校
- ★**大学連携校**
 - ・近江兄弟社中学校

同志社大学への内部推薦進学者14名(09年)。関西学院大学・立命館大学・関西大学にも推薦枠を持っている。

同志社中学では、2010年度は、2006年に開校した同志社小学校（初年度は新1年生～新3年生までが入学）の1期生（現小6）が、中学校に進級する年度となり、募集定員が減少します。募集定員については、後述の「主要校の募集定員変動」においてお伝えします。

2010年の夏頃を目処に、**同志社中学**は現在の今出川校地から、小学校と高校のある岩倉の地に移転することが決定しており、岩倉に小中高が揃うこととなります。現在、中学校の新校舎建設が進んでいます。

【 立命館大学 】

大学附属校・大学連携コース

(2009年7月時点の状況)

立命館大学

- ★**大学附属校**
 - ・立命館中学校
 - ・立命館守山中学校 (10年3月に第一期生卒業)
 - ・立命館宇治中学校
 - ・立命館慶祥中学校(北海道)
- ★**大学連携コース**
 - ・平安女学院 (立命館コース 60名)
 - ・青英西 (立命館コース 60名)
 - ・初芝立命館 (立命館コース 80名)
 - ・初芝橋本(和歌山) (立命館コース 40名)
 - ・岩田(大分) (APU立命館コース 30名)

【立命館コース】は、原則として、全員が立命館大学に推薦で進学できます。

同志社中学と同様、**立命館中学**も、2010年度は2006年に開校した立命館小学校（初年度は新1年生～新3年生までが入学）の1期生（現小6）が中学校へ進級する年度にあたり、募集定員が減少します。募集定員の変更については、後述の「主要校の募集定員変動」にてお伝えいたします。

④ 主要校の募集定員変動

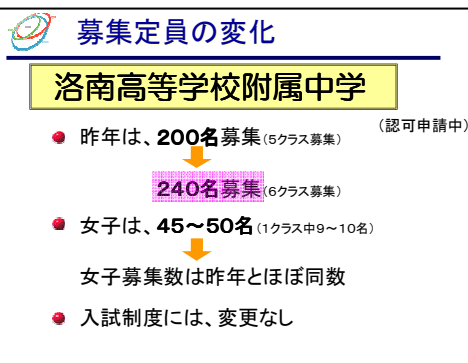
京都の主要人気校では、募集定員が変化する学校がいくつかあります。**同志社中学**・**立命館中学**は減少、**洛南高附中学**・**京都産業大学附属中学**・**東山中学**は増加します。

【 募集枠が変動する学校一覧(抜粋) 】

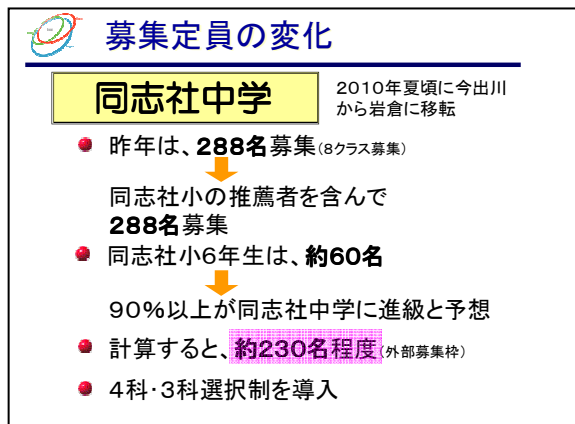
同志社 288名 → 約230名(予測)
立命館 215名(ADC2クラス・総合4クラス) → 120名(予定)(ADC2クラス・総合2クラス)
洛南高校附属 200名 → 240名
京都産業大学附属 70名 → 90名
東山 100名(ユリーカ約20名・エース約80名) → 140名(ユリーカ約26名・エース約114名)

【 洛南高附中学 】

従来200名(5クラス)募集で入試を実施していた**洛南高附中学**は、来年度より240名(6クラス)募集へと変更します。気になる男女の定員数の内訳ですが、洛南の先生のお話によると「女子は昨年度と同数程度しか入学者を出せない」とのことでした。となると、女子の入学者枠は45~50名程度。残りの190名前後が男子の入学者枠となります。これまでの入試と比べて男子の募集定員が30名前後増加することになります。この**洛南高附中学**の募集定員増加は、他の学校にも大きな影響を与えると思われます。

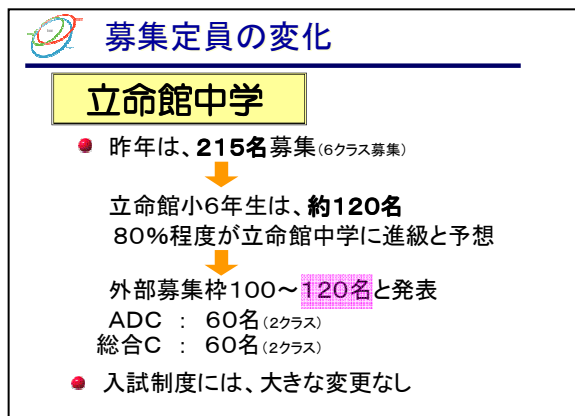


【 同志社中学 】



同志社中学では、2006年に開校した同志社小学校の1期生(現小6)が、中学校に進級する年度です。同志社小の6年生は約60名在籍していますが、そのうち何名が**同志社中学**に進級するのがまだ決定していないため(卒業生は系列4中学のどこを希望することも可能)、募集定員は未定です。ですので、**同志社中学**は、「内部小学校進級者を含めて、募集定員288名」と発表しています。しかし、おそらくほとんどの卒業生が**同志社中学**へ進級すると予想されますので、実質的な募集定員は昨年度から60名減の約230名と予測されます。

【 立命館中学 】



立命館中学も、小学校の1期生が中学校へ進級する年度です。2006年に立命館小学校が開校し、1期生(現小6)は120名在籍しています。立命館小学校は同志社小学校とは異なり、卒業生は深草にある**立命館中学**に進学します。そのため、外部の中学校を受験する一部の生徒を除いた多くの人数が、**立命館中学**に進学することになります。**立命館中学**は既に中学入試における外部募集枠を120名と発表しています。アドバンストコース(ADC)の定員は昨年までとほとんど変わりませんが、総合コースは90名も募集枠が減少します。総合コース志望者への影響は大きいと思われます。

～ まとめ ～

今回は、2010年度入試の変化について、テーマを絞ってお伝えいたしました。主な学校だけでもこれだけの変化があります。こういった変化の激しい入試年度では、多くの学校で入試難易度が変動する現象が見られます。難化する学校もあれば、その逆に思わぬ合格を得られる場合もあります。ですので、志望校の情報に気を配りつつ、難化した場合に備えて、目標偏差値を少し上に設定して、日々の学習に取り組むことが大切です。ただし、変化が多い入試年度でも、最難関校では、劇的な難易度変化は比較的起こりにくいです。

入試制度の変化から起こる最新の志願者動向や、併願校を含めた受験パターンの情報は、秋以降の学校情報 FLASH や各校で実施される保護者会でお伝えいたします。

～ お知らせ ～

成基コミュニティでは、7/19に「進学フェア大阪」を開催しました。続いて、8/23には「進学フェア京都」（学校説明会・進学相談会）を開催します。講演会では、いくつかの学校の先生の講演をまとめて聞くことができます。また、各学校のブースでは、学校の先生と直接お話できます。さらに、パンフレットなども入手できます。多くの学校が集まる合同説明会は学校選びの第一歩です。中学受験を考え始めた方、志望校が決まっておられない方は、先入観を持たず、できるだけ多くの学校の情報を得ましょう。印象が変わる学校があるかもしれませんね。すでに志望校が明確な方は、志望校の先生と直接お話しして、疑問や不安を解決しましょう。皆様のご参加をお待ちしております！！

次回は、9/5発信予定です。「進学フェア大阪」「進学フェア京都」や「成基コミュニティ会員限定学校見学会」の開催の様子をお伝えいたします。